# 出演者プロフィール



## 澤畑 恵美（さわはた えみ）【ソプラノ】

国立音楽大学卒業。同大学院、文化庁オペラ研修所修了後、渡伊。日本音楽コンクール第1位受賞。二期会『フィガロの結婚』スザンナに抜擢されデビュー以降、『椿姫』ヴィオレッタや新国立劇場開場記念公演『建・TAKERU』春乃、『魔笛』パミーナ、『アラベラ』ズデンカ、『夕鶴』つう等卓越したテクニックと表現力、艶やかな舞台姿で日本を代表するソプラノとして活躍。近年では二期会『フィガロの結婚』伯爵夫人、『ラ・ボエーム』ミミ等気品あふれる演唱を披露する他、『女の愛と生涯』など円熟を極めた歌唱で絶賛を博している。コンサートでも優れた才能を発揮し、E.インバル、G.アルブレヒトなど国内外の著名指揮者やN響等主要オーケストラとも多数共演。CD「にほんのうた」等リリース。第21回ジロー・オペラ賞受賞。国立音楽大学大学院教授。二期会会員。



## 福井 敬（ふくい けい）【テノール】

国立音楽大学大学院修了。文化庁オペラ研修所修了後、文化庁在外派遣等により渡伊。二期会40周年記念『ラ・ボエーム』でのデビュー以降、数々のオペラに主演。二期会『オテロ』『カルメン』『ホフマン物語』『トリスタンとイゾルデ』、新国立劇場『ローエングリン』『罪と罰』『トスカ』、びわ湖ホール『パルジファル』『ドン・カルロ』等そのレパートリーは幅広く、とりわけ『トゥーランドット』カラフは様々なプロダクションで高い評価を得る。コンサートでも小澤征爾、Z.メータ等の国際的指揮者からの信頼も厚い。第65回芸術選奨文部科学大臣賞等受賞歴多数。国立音楽大学大学院教授。東京藝術大学非常勤講師。二期会会員。



## 黒田 博（くろだ ひろし）【バリトン・司会】

京都市立芸術大学卒業、東京藝術大学大学院修了。イタリアにて研鑽を積む。
新国立劇場、二期会、日生劇場、びわ湖ホールなどの主催公演でモーツァルト4大オペラのほか、ワーグナー『ニュルンベルグのマイスタージンガー』『ローエングリン』『タンホイザー』『パルジファル』やヴェルディ『椿姫』『オテロ』『ファルスタッフ』、プッチーニ『トスカ』などに出演。新国立劇場では『軍人たち』『ラインの黄金』『フィデリオ』『ウェルテル』などの他、日本人作曲家によるオペラに多数出演し、市川團十郎(十二代目)演出による『俊寛』ほか、『天守物語』『修禅寺物語』『鹿鳴館』等に主演。
二期会会員。国立音楽大学大学院教授。



## 齋藤 亜都沙（さいとう あづさ）【ピアノ】

国立音楽大学附属中学・高等学校を経て国立音楽大学ピアノ専攻首席卒業。同大学院修士課程修了。岡田九郎記念賞、武岡賞受賞。セイジオザワ松本フェスティバル室内楽勉強会から3度招待を受け、リートデュオマスタークラスを受講。読売新人演奏会、宮内庁桃華楽堂御前演奏会ほか多数出演。室内楽や声楽分野で数多くの音楽家と共演し、近年では浜離宮ランチタイムコンサートや東京オペラシティ主催公演B→C、NHK-FMリサイタルパッシオ等に伴奏で出演。ピアノを梅本実、五十嵐稔、五十嵐恵子、福田ひかり各氏に師事。現在安井耕一氏のもとで研鑽を積み、毎年ソロリサイタルを開催。元国立音楽大学大学院歌曲科伴奏助手。こども教育宝仙大学非常勤講師。二期会ドイツ歌曲研究会ピアニスト会員。池上朗子合唱団常任ピアニスト。

### 「羽村市と国立音楽大学との連携に関する協定」

令和３年９月１０日、羽村市と国立音楽大学は活力のある地域社会の創造、人材の育成などを目的に連携協定を締結し、音楽による連携・協力を深め、文化芸術の一層の充実に取り組んでいます。
本公演は、この協定に基づき開催するものです。